

令和6年度 児童用学校評価の結果(全学年)

令和6年11月実施・12月集計

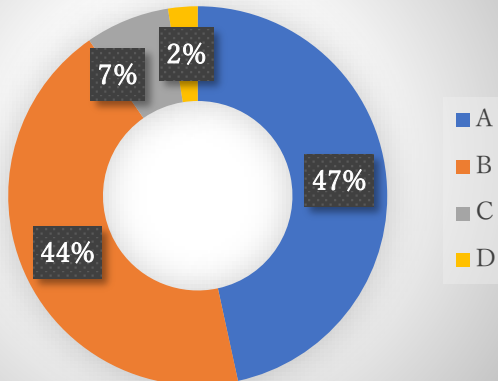
A とてもそう思う

B そう思う

C あまりそう思わない

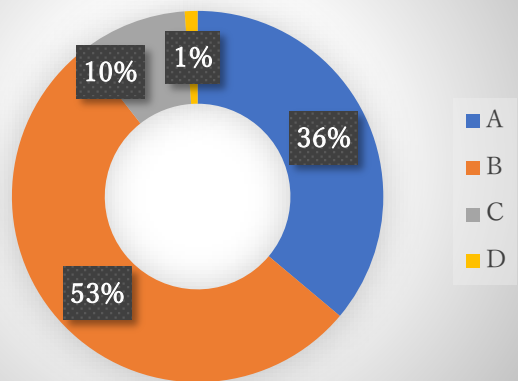
D そう思わない

学校の授業は、わかりやすく、楽しいですか。



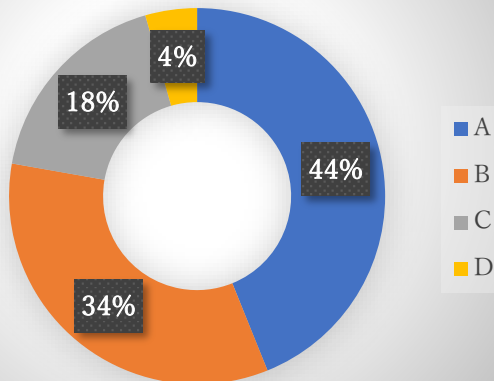
91%の児童が「よくあてはまる」「あてはまる」と回答していて、他の項目と比べて高い評価である。一方で、2%の児童が「あてはまらない」と答えている。引き続き、児童の実態に合わせた授業づくりを行っていく。

港南スタンダードを守れていますか。



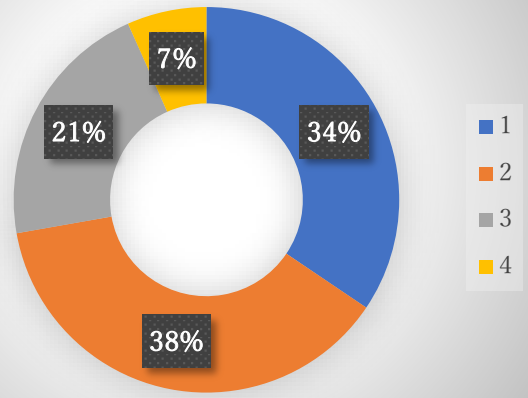
89%の児童が「よくあてはまる」「あてはまる」と回答している。しかし、時間への意識や廊下の安全な歩行など引き続き指導が必要な項目も多い。生活指導アンケートの結果を参考に今後も粘り強く指導していく。

学校の休み時間や体育の学習などで、よく身体を動かしていますか。



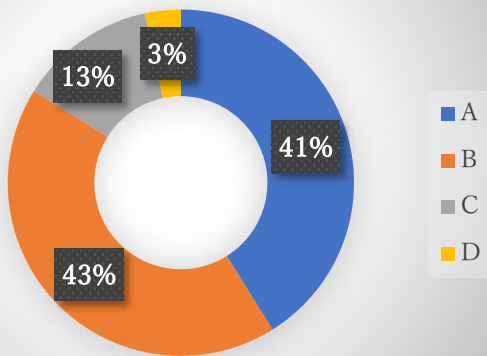
78%の児童が「よくあてはまる」「あてはまる」と回答している。なわとび週間にすすんでなわとびに取り組んだり、体育の学習に楽しんで取り組んだりする児童の姿も見られた。

学校で困ったことを先生に伝えられますか。



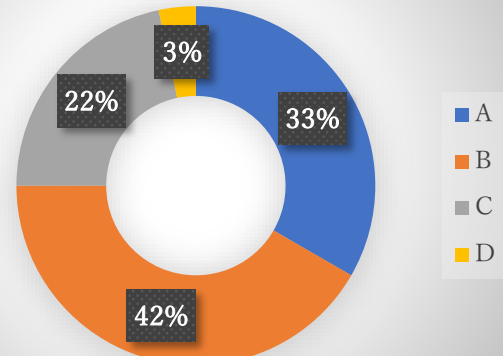
72%の児童が「よくあてはまる」「あてはまる」と回答している一方、7%の児童が「あてはまらない」と回答している。困っている児童がいないか複数の目で丁寧に確認し、話しやすい空間や雰囲気を大切にしながら対応していく。

「国際科」の授業は楽しいですか。



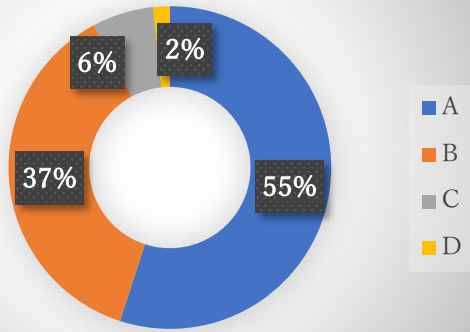
84%の児童が「よくあてはまる」「あてはまる」と評価をしている。低学年は、ほとんどの児童が英語で歌やダンスに親しみ、楽しみながら学習に取り組んでいる。中・高学年は、低学年に比べ、「あまりあてはまらない」「あてはまらない」割合が高いため、今後も指導方法を工夫し改善できるようにしていく。

あいさつをすすんで行っていますか。

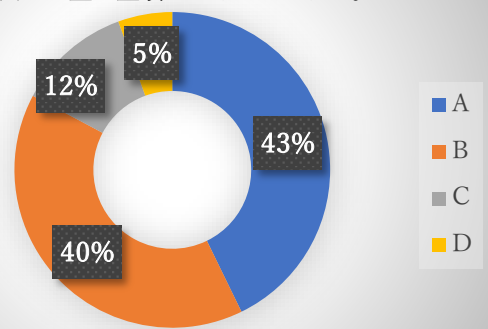


75%の児童が「よくあてはまる」「あてはまる」と評価をしている。しかし、学校関係者評価や教職員評価の結果との乖離が見られ、すすんであいさつをすることができない児童もいると考える。今後も教員の方から粘り強くあいさつをし、児童への定着を目指すなど来年度の重点指導事項とする。

楽しく学校に通っていますか。



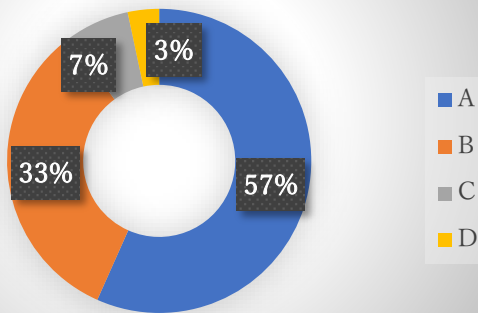
身の回りの整理整頓ができていますか。



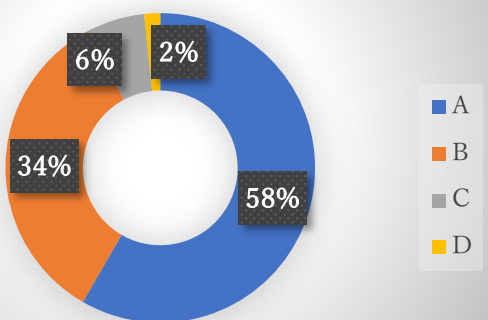
92%の児童が楽しく学校に通うことができているという高い評価をしているので引き続き児童が楽しいと思える学校を目指していきたい。一方で2%の児童が「あてはまらない」と回答していることは、見逃せない結果であり、対象の児童を確認するとともに、個々の問題を教職員全体で把握し、早急に改善に努めていく。

「よくあてはる」と回答した児童が4割程度に留まっている。学校で使うものの置き場所を確認し、使ったら物を元の位置に戻す習慣を身に付けさせたい。また、定期的に道具箱の中やロッカーを確認、整頓する時間を設けて、整理整頓の意識を高めていけるようにする。

フレンドリータイムで他の学年の友達と楽しく活動できていますか。



学校行事に意欲的に取り組むことができていますか。



活動の様子を見ていると、下の学年の子を迎えに行ったり、話し合いの進行をしたり、遊び方を説明したりと高学年が上級生らしい活躍をする姿が多く見られた。一方で、遊びの内容を計画したり用具を事前に準備したりするなど見通しをもって活動に取り組むことができない児童もいた。高学年を中心に事前指導や事後指導を充実することで更なる活動の充実を目指す。

人前に出ることや大きな声で話すことなどを苦手とする子もいる中で「よくあてはまる」「あてはまる」が92%を占めていることから行事に対する意欲が高いことが読み取れる。今後も学校行事で学んだことを学校生活に生かせる指導を継続して行っていく。